

# みんなの町議会



## 目次

- 9月定例会の経過…………… 2
- 全員協議会・臨時会…………… 3
- **決算特別委員会**…………… 4～5
- 常任委員会の焦点…………… 6～7
- 一般質問に7人登壇…………… 8～15
- 陳情・議員研修報告…………… 16
- あれ なんと なった べが！…………… 17
- 楽しんでます・がんばってます…………… 18

No.140

2019年11月1日

にぎわった きのこまつり

# 副町長 教育長を再任

## 9月 定例会

### 議会の経過

9月定例会は9月9日から20日まで12日間の日程で開かれた。

初日渡邊町長は行政報告で「五城目町・千代田区姉妹提携30周年記念式典を9月6日に開催し、今後両自治体が益々発展し、より一層友好が深まることを誓い合った。人口減少、少子高齢化が進む中において、複数の集落で構成する新たなコミュニティ生活圏形成事業を、馬場目地区をモデル地区に指定し検討作業を進めている。

指摘のあった小学校の職員駐車場を距離的に新校舎に近い民間所有の休耕田を買収し整備したい」と述べた。

2日目、3日目の一般質問には7名が登壇。町財政運営、まち・ひと・しごと創生総合戦略、五城目町の観光、带状疱疹予防接種の助成、森山の車道、森林環境譲与税の活用、施設・インフラ整備などの質問をした。

3日目からは、令和元年度一般・特別会計補正予算案、

平成30年度一般・特別会計歳入歳出決算認定案など議案19件、報告5件が上程され、各常任委員会と決算特別委員会で審議した。

最終日は、決算特別委員長、各常任委員長報告の後、人事案件を含む全議案を全会一致で可決、認定、同意、報告済とした。陳情2件は採択、2件を継続審査とし、議員提出議案2件を可決し、閉会した。



### 補正予算の主なもの

- 五城目町シルバー人材センター運営費補助金 150万円
- 磯ノ目地区地籍調査委託料 300万円
- 公共施設等総合管理基金積立金 4,890万円
- 小学校新校舎職員駐車場用地購入費 100万円



五小の駐車場予定地

## 第2回臨時会

令和元年7月5日

国保税引き下げ案を可決

### 提出議案

五城目町国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について

全会一致で可決

## 第3回臨時会

令和元年8月5日

五小改築工事の契約締結案を賛成多数で可決

### 提出議案

工事請負契約の締結について  
・令和元年度五城目小学校改築工事

原案に対する反対討論の後、採決は投票で行う旨の動議があり、記名による投票を行うことになった。記名投票による採決の結果、賛成11、反対2の賛成多数で可決された。

### 原案に対し反対の討論

最低制限価格の設定根拠が明確  
館岡 隆 議員



でなく、入札の行為そのものに疑義がある。落札決定にあたり非常に瑕疵のある決定、契約である。

### 原案に賛成の議員

荒川 滋・椎名 志保  
佐藤 慶彦・斎藤 晋  
佐々木仁茂・畑澤 洋子  
石井 光雅・伊藤 正春  
佐藤 重信・荒川 正己  
石井 交三

### 原案に反対の議員

館岡 隆・千田 峯夫

### 第4回

## 議員全員協議会

令和元年7月1日

### 協議案件

国民健康保険税率改正について

## 副町長の選任に同意

再任

武田 和栄氏(68歳)

中高崎



## 教育長の任命に同意

再任

畑澤 政信氏(65歳)

矢場崎



## 人権擁護委員の推薦に同意

再任

石井 正氏(69歳)

雀館



再任

畠山 延子氏(63歳)

黒土



再任

島崎 春美氏(63歳)

大川



(佐藤 慶彦)

# 決算特別委員会

## 健全な財政運営 今後の大きな課題



4日間にわたり行われた決算特別委員会



委員長  
荒川正己

### 審査日程

決算特別委員会は9月13日から連休日をはさんで9月19日までの4日間の日程で行われた。付託された議案は、平成30年度一般・特別会計歳入歳出決算など7議案であり審査の結果、全議案を全会一致で認定すべきものとした。

審査方針としては、議会が承認した予算がどのように執行され、町民や地域のためにどのような使われ方をしたのか、財政の現状と今後の見通しはどのようなのかなど、次年度に結びつく審査とした。

#### 9月13日

委員長挨拶・審査方針説明

午前

消防本部

税務課

午後

議会事務局  
健康福祉課

#### 9月17日

午前

出納室  
農業委員会

農林振興課

住民生活課

商工振興課

建設課

#### 9月18日

午前 まちづくり課

総務課

午後

生涯学習課  
学校教育課

#### 9月19日

午前 現地視察（埋め立

処分場・広ヶ野橋・

浅見内防火水槽・

クリーンセンター

解体跡地・恋地と

きめき農園）

午後 委員会決算認定に

ついて採決

審査総括

### 決算特別委員会

委員長 荒川 正己

副委員長 佐々木仁茂

委員 荒川 滋

委員 椎名 志保

委員 畑澤 洋子

委員 佐藤 重信

参与 小林 正志

(議会議長)



改修が終わった広ヶ野橋橋げた

# 各課の主な審査結果

## ● 消防本部

新型の消防ポンプ車や救急車が配備され、町民の安全安心に寄与している。救急救命士は13人、実働が10人で最近是有資格者を任用しているとのこと、町にとってはプラスである。

## ● 税務課

町税の未納者に対して、催告書の封筒をカラーにするなどのアイデアで、徴収率が増加し評価に値する。今後も更なる徴収率アップに努めてほしい。

## ● 健康福祉課

いろいろな事業を行っている



新型車両が配備された消防署

るが、なかなか町民に伝わっていないのではないかと。町民に事業内容を知らせる工夫をすることによって、他課の職員や議員も情報を持つことが出来るので施策を広げていける。

## ● 国民健康保険特別会計

積立した基金を保険事業や保険税の調整に活用すべきと指摘。

## ● 介護保険事業特別会計

健康寿命を延ばす介護予防に力を入れるべき。

## ● 農林振興課

キイチゴは町の特産として認知度が高くなってきているが、生産量は伸び悩んでいる。キイチゴの新たな生産者の確保と規模拡大に努めてほしい。

## ● 住民生活課

防災行政無線は完備されたが、自主防災組織の立ち上げが全町に及んでいない。全町に組織が拡大するよう支援すべき。



にぎわいが続いて欲しい朝市

## ● 商工振興課

朝市は町の誇りである。定市場組合とイベント関係者などとの密なる話し合いを進め賑わいの続く朝市になるよう求めた。

## ● 建設課

橋梁や道路は生活に結びついているので、財政と相談しながら生活環境の整備を計画的に進めるべき。

## ● まちづくり課

地域公共交通の利用しやすい形をしっかりと考え、買い物弱者や不便を感じている町民に寄り添ってほしい。

## ● 生涯学習課

屋内温水プールの活用やPRを工夫して、利用者増に努めるべき。

## ● 学校教育課

五城目小学校改築工事に全力を尽くしてほしい。

## ● 総務課

小学校建設の起債により今後、実質公債比率や将来負担比率の指数が上昇すると思われる。財政の悪化を避けるべく自主財源の確保に努め、事業の進め方に留意し健全な財政運営に努めてほしい。



森山を望む五小建設現場

(佐々木仁茂)

# 総務産業 常任委員会

## 公共施設等総合管理 基金条例を制定

※過疎債（過疎対策事業債）とは  
過疎地域に該当する市町村に限り発行が認められる。発行額のうち7割が国からの地方交付税増額されるため、元利償還の負担は3割で済み、過疎地域の貴重な財源となっている。

町では少子高齢化の進展により社会保障費の増加や、税収の減少など財政状況はさらに厳しくなることが予想されている。いっぽう、老朽化が進む公共施設等の維持管理には多額の費用が必要になる。  
管理に要する経費の財源に充てることを目的として財政負担の平準化を図るため『五城目町公共施設等総合管理基金条例』を制定することとなった。  
初年度、※過疎債4,890万円を基金に積み立てる。

### 財政の健全化判断 比率報告

実質公債費比率は防災行政無線整備などの事業により若干増加したが、将来負担比率は約10ポイント改善した。  
今後、小学校改築事業など大型事業により両数値が悪化し、今後もより一層厳しい財政運営が予想される。

	実質 公債費比率 (%)	将来 負担比率 (%)
平成28年度	7.5	94.9
平成29年度	7.8	87.4
平成30年度	8.9	77.5
健全化基準	25.0以下	350.0以下

過去3年間の財政指数の推移

### あったか五城目の経営状況

発行株式の半分を町が出資する(株)あったか五城目の経営状況が報告された。  
町からの指定管理者として運営している『五城館』、直営『パンの店あったか小町』・『みんなの店あさいち』いずれも減収減益となった。  
綿密な経営改善計画を立て、本来の目的である中心市街地の活性化に向けても取り組むことが望まれる。



あったか五城目が運営する五城館

# 子育て支援が より手厚く

## 教育民生 常任委員会

幼児教育・保育の無償化が10月1日より始まる。この制度は、幼稚園や保育園に通う3〜5歳のすべての子どもと、保育園に通う0〜2歳の住民税非課税世帯の子どもに対して、利用料を国が補助するというものである。

しかし、それまで保育料に含まれていた給食の副食（おかず）費が、原則実費徴収となるため、一部世帯では負担が増える可能性が出ていた。県は、10月から子育て世帯の負担を軽減するため、市町村と共同で実施している「すこやか子育て支援事業」の中で、副食費の1/2または1/4を補助することにしたが、さらに残りの1/2または3/4の自己負担部分を町が単独で補助することに決めた。

委員からは「保護者の負担が軽減され、良い判断だ」と評価する意見があった。

### 助成事業

に参加しない市や、補助に所得制限を設ける自治体もある中、当町は副食費も無償化することで、より子育て支援を手厚いものとした。



子供たちの元気の源

## 五城目小学校改築事業 駐車場用地を取得

五城目小学校改築に伴い、職員駐車場として建設地に近い土地を取得することになった。

勤務する教職員が雀館運動公園駐車場を利用するのは、目的外使用にあたるため、新たな土地の取得が求められていた。

委員からは、「将来を見据えて、余裕を持って取得すべきではないか」との意見があった。

小学校行事の際など、保護者が一時的に雀館運動公園駐車場を使用することは差し支えないとしている。



70台の駐車が可能に

## 火葬場の今後に向け調査始まる

炉の著しい老朽化に伴い、火葬場の今後のあり方について、調査・検討が始まることになった。

現在の火葬場は、築29年以上が経過し、老朽化による大規模改修や改築が必要となっている。今回の調査は広域化も視野に入れ、総合的なものとなる。

委員からは「火葬場に足を運び、故人に手を合わせることは、五城目独特の風習。そういったことも考慮し、取り組んでもらいたい」との意見が出ていた。

(椎名 志保)

# 一般質問

## 7議員が登壇 ただ 30項目を質す

### 一般質問とは？

一般質問は、年4回（3、6、9、12月）の町議会定例会において行われます。議案とは関係なく、町政全般にわたって議員主導による政策論議であり、通告性が採用されています。一般質問をするかしないかは、議員個人の判断によります。

\*五城目町議会では、質問者1人につき持ち時間は60分（質問・答弁含む）となっています。

### 質問者

#### 椎名 志保 議員

- 町財政運営について
- コミュニティ生活圏形成事業の進捗状況は
- 会計年度任用職員制度の実施について
- 農地について
- 児童の体力低下をどう改善していくか

#### 佐藤 慶彦 議員

- まち・ひと・しごと創生総合戦略について
- まちづくりについて
- 職員について
- 消防団について
- 教育委員会に関して
- 行政報告に関して

#### 斎藤 晋 議員

- 五城目町の観光について
- 町の各課が管理している、各種団体の事務局の今後について
- 害獣駆除（クマ）について
- 除雪について

#### 畑澤 洋子 議員

- 带状疱疹予防接種に助成を
- 消防署職員・分団員の処遇改善を
- 小中学校児童生徒の熱中症対策を
- 道路の穴ぼこ（ポットホール）を町民が見つけたらスマホで送信できるシステムの採用を

#### 佐藤 重信 議員

- 不登校について
- 当町の所有者不明の土地について
- 森山の車道について

#### 舘岡 隆 議員

- 農林振興課関係について
- 空き家対策について
- 五小改築について
- 行政報告について

#### 荒川 滋 議員

- 公共施設等総合管理計画に基づく施設・インフラ整備について
- 『こどもは町の宝』を実感できる町であるよう（スポーツ、部活動面）
- 朝市開催区域を除雪特区に
- 条例で定められている消防団員の定員について

\*誌面の関係上掲載できなかった●印の質問については、町ホームページにて議会映像を配信しておりますのでそちらをご覧ください。

五城目町議会映像配信中 [www.gojome-town.stream.jfit.co.jp](http://www.gojome-town.stream.jfit.co.jp)

# 一般質問

## 町の財政は大丈夫か

### 町長 計画に基づき進めている



椎名 志保

**椎名** 一大事業である小学校建設が始まっている。建て替えが迫られる火葬場、維持管理費のかかる温水プール、老朽化が進む赤倉山荘、修繕の必要な橋も増えている。

公共施設の大幅な見直しを図るなどし、歳出の抑制に努めるべきでないか。地方交付税の減額も予想される中、どう財政の健全化を図っていくか。

**町長** 「五城目町公共施設等総合管理計画」に沿って管理し、歳出の抑制に努めていく。

**椎名** 公営住宅、未使用財産の払い下げ、下水道料金の見直しをどう考えるか。

**町長** 県と更なる協議を進め、公営住宅の譲渡処理を進めていく。

未利用地の払い下げ希望はなかなか無い。周知の機会をとらえ、財源の確保に努める。

町の下水道使用料は、県内で最も安価である。収益の減少、施設の老朽化・長寿命化を考慮しながら、水道料金と併せ、適正な使用料算定を検討していく。

**椎名** 火葬場、消防署の広域化は。

**町長** 老朽化が進む火葬場は、改修・改築に係る調査を行う。

消防については「秋田県消防広域検討会」が設置され、消防指令台の共同運用のあり方が検討されている。注視し、広域化に対応していきたい。

### 農地集積・集約は進んでいるか

**町長** 農地利用最適化推進委員を配置し、農業者の意見を聞き、農地相談に対応している。アンケート調査も実施している。

**椎名** 農地の貸借契約の中でトラブルが発生しているが、適切に対応しているか。農地トラブルは担い手不足という問題をかかえている。どう考えるか。

**町長** 担当地区の農業委員を交え、双方それぞれの事情を共有し、お互い納得できるよ



五城目の農業、今後どうなる

う話し合いを行っている。受け手の許容範囲が限界に達している農家もあることから、今後も貸人の意向に沿えない賃貸借の発生が懸念される。農地中間管理事業を活用し、トラブルの軽減に努める。

将来的に離農を考えている農家が増えており、受け手として規模拡大を希望する農家が少ない実状である。

**椎名** 大潟村の法人が町でタマネギ栽培を始める。農地の集積と合わせ、タマネギ栽培を広めてはどうか。

**町長** 耕作者と土地所有者のマッチングなど、担い手不足の解消と農地の荒廃防止に努める。

### 児童の体力低下をどう改善するか

**椎名** 一昨年、児童の体力が県平均を下回っている調査結果があった。スポーツの加入率が低いことも一因ではないか。スポーツのあり方を話し合う場を設けてはどうか。

**町長** 学校における体力作りの成果が現れ、昨年度はすべての学年において平均並みか、それを上回る結果となっている。学校、家庭、地域が連携して放課後や休日、長期休業中の運動への取り組みを推進していく。

今後スポーツ少年団のあり方などについて、学校、親の会、団本部を交えた話し合いの場を設け、協議していく。



心身が育まれるスポーツ少年団活動

# 大川の歩道橋は今後も必要か

## 一般質問



佐藤 慶彦

### 町長 撤去し横断歩道を設置したい

**佐藤** 老朽化する公共施設の解体にあたっては、国も県もそれに向けた財政計画が必要となり解体には時間がかかる。町内の国県の公共施設、例えば昭和49年に国が設置した国道に架かる大川の横断歩道橋を町ではこの後どのようになりたい考えか。

以前は、通学路として利用者も多かったが、現在は利用者も少なく、階段は高齢者には負担が大きい。また周辺には横断歩道もなく危険である。歩道橋解体と横断歩道の設置を関係機関に早期に要望すべきではないか。

**町長** 以前は大川小学校の通学路として利用していたが、現在はまれな利用状況で、また高齢者には階段の上り下りはきついものと思われる。冬期間には、積雪と凍結により転倒し怪我をする事例もあつ



設置して45年経った歩道橋

た。

五城目小学校前にも歩道橋があったが、腐食と老朽化が進み、撤去し横断歩道に変わっている。

大川の歩道橋に関しても、

国に歩道橋の撤去と県に横断歩道と歩行者用信号器の設置の要望を進めていくため、時間をいただきたい。

### 街路樹も計画的な管理を

**佐藤** 街路樹の管理は適切に行われているか。ダイサン前の交差点など危険な箇所があるが。

**町長** 中央線のケヤキは幹が

大木化してきている。交差点部分は見通しが悪い危険な箇所もあり、伐採も考慮に入れて安全確保に努めたい。



その後、伐採され見通しが良くなった交差点

### 中学校学習支援の拡充を

**教育長** 数学と英語の学習支援員が1名ずつおり、夏休みから希望者に学習支援を実施している。3年生が中心ではあるが、1・2年生にも希望があれば実施している。

月に6日間の実施で、自主参加にもかかわらず参加率は100%に近く、生徒や保護

者からは好評である。将来的に理科に対する学習支援も実施出来れば理想と考えている。

**佐藤** 予算の問題もあり月に6日の実施にとどまっている。ふるさと納税の基金を活用するなど実施日が増えるように努力してほしい。

### 時代にあわせた仕事作りを

**佐藤** 町のまち・ひと・しごと創生総合戦略の第2期総合戦略策定に向けての準備状況は。

**町長** 新たな事業として、「特定地域づくり協同組合運営事業」「関係人口創出事業」「コミュニティ生活圏形成事業」などを検討している。

**佐藤** 外からの移住者も大事だが、情報通信技術の進展にあわせた仕事づくりを行い、町で育った人が残れる戻れる仕事環境づくりが必要だ。

**町長** スマート農業など、その活用方法についても検討を行いたい。

# 一般質問

## 森山の観光に対し町長の夢は

### 町長 山頂までロープウェイを通す 壮大な夢がある



齋藤 晋

町のシンボルである「森山」の観光をどう進める

齋藤 新聞報道された森山観光の町の方針は。

町長 アクセス道の悪さがクローズアップされているが、昭和51年に森山森林公園として整備し、山頂の眺望以外に森林公園として四季折々の魅力がある。又、湖東平野に悠然とそびえる姿は、地域住民の心のよりどころであり町の遺産であり、インフラ整備は景観や環境に配慮し慎重に進め、森林公園として充実させ魅力をPRし観光に繋げたい。



四季折々の魅力ある森山

「森山」を観光の目玉とする町長の夢は

齋藤 森山を中心とした町の観光に対し町長の個人的な夢は。

町長 夢は、道の駅「悠紀の国五城目」から「五城目城」を経由して山頂までロープウェイを通すと言う壮大な夢がある。湖東平野の夜景や四季折々色とりどりのパノラマを楽しむため、国内外から観光客が訪れ、町が一躍脚光を浴びる事。以上、私の夢である。

町が事務局を止めれば無くなる団体もあるのでは

齋藤 町が預かっている、各種団体の事務局を今後どうするのか。

町長 現在42団体の事務局を町が担っている。観光物産協会及び漁業協同組合などは本来独自の事務所を持つべきものがいまだに事務局を町が行っている。その他の団体の中でも町から補助金や負担金の交付団体も、独自の事務局で運営する事が理想である。職員の仕事改善の点からも現金を扱う会計事務については職員が直接従事しないよう検討する。

有害駆除を担っている  
猟友会に対し、もっと  
補助・支援をすべき

町長 有害鳥獣駆除事業に関する活動費の一部として年間13万6千円の補助金を交付している。又、年間4千円の報酬を支給している。他に狩猟免許取得の方に上限で7万6千円・散弾銃等の購入に対し上限で20万4千円・ライフルの購入に上限で7万円・わな免許取得には上限で8千2百円支援補助金を交付している。



猟友会が設置した箱罠

齋藤 有害駆除を担っている猟友会に対してもっと手厚く補助すべきである。

その他に

- 森山のクマ出没の対策は
- 有害駆除までの経緯は
- 有害駆除の経費は
- 除害会議はいつ
- 除害路線決定はいつ
- 除害業者の確保は

を質問しました。

## 50歳以上に助成を

### 町長 助成について検討していく



**畑澤** 幼少期に水疱瘡みずぼうそうに感染し、高齢になってから带状疱疹として発症する。耐え難い激痛と带状疱疹後神経痛として長く苦しむ人が多い。水痘ワクチンを接種し带状疱疹発症を防ぐことができる。50歳以上の町民に、予防接種費助成を。

**町長** 予防接種をすることで発症率の減少と痛みを軽減する効果が報告されている。助成について今後検討する。

あなたにかわって聞きました

## 一般質問



畑澤 洋子 (公明党)

### 消防分団運営に補助金を

**畑澤** 4月の第一段階分団再編から6月の操法大会と、良く団結し取り組んだ。だが会場での団員の減少は一目瞭然。自然消滅の可能性もある。「この人達の仲間になりたい」と思わせる分団づくりが大事だ。集まる機会や行事を工夫



団員減少が著しい消防団

し絆を深めるために分団独自に柔軟に使える補助金が必要だ。

**町長** 年報酬と出勤費用弁償は各個人の口座に振り込まれている。その後、分団での対応は把握していない。正月に「\*」配布し寄付金を頂いているのが各分団の活動資金となっていると思われるが、把握していない。

### 小中学校児童生徒の熱中症対策に

**畑澤** 水筒に水やお茶を持参しての登校は、量的に限りがある。具合が悪くなつてからの水・お茶は腸からの吸収に圧がかかり効果はおそい。経口補水液を常時備蓄して対応してはどうか。

**町長** 小学校では暑い時期、水分補給として水かお茶を、冬は感染予防にお茶の持参をお願いしている。今後、経口補水液も常備する。中学校ではペットボトルの経口補水液を常備している。

### 道路の穴ぼこを町民が送信

**畑澤** 道路の破損箇所を発見したら、アプリを起動し写真撮影。「穴あり」と書き込めば、役場の担当課に伝わる。町民参加で協同のまちづくりを。

**町長** 平成17年から町と五城目郵便局・内川郵便局より道路損傷等の情報提供をいただいている。また、建設課職員による、道路・河川パトロールのほか、各課長室を通じ、全職員からの報告を建設課に連絡を入れる体制をとっている。

町ホームページ上で類似した通報システムの運用が可能か検討する。

\*「大小」とは  
町内戸数分の「大小ごみ」を、分団が購入し、お正月に全戸に配布しているもの。

# 一般質問

## 森山車道の所有者は

### 町長 通信事業者の管理道路と認識している



佐藤 重信



道と表示されていない道

**佐藤** 森山の道路は通信事業者が所有していないと言っているが、確認しているか。

**町長** 昭和40年4月1日に通信事業者が町と3名の関係者で無償で土地使用賃借契約を締結している。契約条項の主なもの、契約期間が、通信事業者用施設の存続中とす

る。無線中継所連絡道路となるまでの工事費は通信事業者が負担する。本道路に変更を加えようとするときは、町などの承諾を得て行う。道路の補修を必要と認められた時は、通信事業者の自費をもって行う。平成23年豪雨により法面が崩落し、通信事業者へ復旧を依頼し工事している。このようないことから通信事業者の管理道路と認識している。

**佐藤** 地番の記載がなく道とだけ記してある場合は、公道であるケースがほとんどであるがガードレールなど安全設備が不十分であり、事故などがあれば管理責任はどこか。

**町長** 旧道と思われる箇所について道と表示されているが、通信事業者で開設した箇所は道の表示がされていない。

**農林振興課長** 表示されていない部分（曲がりくねった道路）は町と個人所有で通信事業者と無償で賃貸借を結んでいる。

**佐藤** 道路が完成した後に東屋などが建設されている。当時道路使用許可はどこからもなかったか、鐘楼・駐車場含む。

**町長** 公道はなく通信事業者と協議したものと思われる。駐車場・鐘楼は町が土地所有者と賃借契約している。（次の日に当局から図面をもって全議員に説明があり、無償で通信事業者へ貸与された所から分筆登記されず、道路用地として表示されていない。）

**佐藤** 小学校で同じ学年で複数の児童が不登校と聞いているがその原因は。

**教育長** 不登校と判断している学年別人数は、2年生1名、4年生3名、5年生1名、6年生が1名である。

集団生活や学習活動への適応困難が理由である。

**佐藤** 教育現場の対応は。

**教育長** 児童生徒一人一人の状況に応じて、細やかな指導を心がけている。家庭訪問を継続的に行い、保護者と面談し、情報を共有し登校に向けた支援を行っている。

**佐藤** 教育委員会としての指導対策は。

**教育長** 学校生活の充実、自己実現の取り組みを大切に、個に応じた指導・教育相談の充実・家庭・地域・関係機関との連携の充実の支援、学校評価の折には、児童生徒の実態、学校の取り組みなどの評価を適切に行い指導や取り組みの改善を図っていくよう指導・助言していく。

保護者とは不登校のみならず子育てや家庭教育についての情報提供や相談対応を行い、保護者に寄り添った支援をしていく。

### 不登校の実態は

**佐藤** 不登校の児童生徒は現在何名いるか。

**教育長** 平成31年4月1日から令和元年7月24日までに不登校と判断している児童生徒数は、小学校が6名、中学校2名で欠席日数50日以上が小学校3名、中学校1名である。

# 一般質問

# 帝釈寺の大けやきを『千代田の森』(仮称)に

## 町長 諸事業を実施したい



館岡 隆

### 森林環境譲与税の柔軟的な運用を

**館岡** 帝釈寺農村公園内の町の指定文化財「大けやき」は町内会の尽力によりきれいに管理されている。令和元年度森林環境譲与税1,400万円程前倒して町に入る。その資金を柔軟に活用し、新しい名所づくりを。周辺を徹底的

### 農地基盤整備の進捗状況は

**館岡** 政府も第一次産業(農業、林業)の発展なくして地方の創生はないとし、担い手づくりや農業競争力の強化に力を入れている。高崎地区の整備事業の気運が盛り上がりつつある。地域も大いに期待をしているが、どうか。

**町長** 高崎地区は受益面積が

に整備し、姉妹提携30周年記念『千代田の森』(仮称)として地域の活性化につなげたいらどうか。

**町長** 新たな森林管理システムにより、林業の持続的発展と森林の有する多面的機能を発揮し、諸事業を実施したい。

### 多面的支払交付金事業の状況は

**館岡** 地域のために町の指導を受け、懸命に組織のリーダーが努力してきたが、結果的に地域が一つになれず、その組織は解散した。町に責任はないのか。

44ha、概算事業費は4億3,200万円、少しでも早い完成を目指して県に要望している。

### 地元産材の活用し地元業者と連携を

**館岡** ようやく五小の建設工事がスタートし来年10月の完成が期待されるが、契約額が設計額の15%以上(3億円以上)安くなり初期の設計通り完全な校舎が完成するの心配である。また議会が指摘した地場産材の活用、地元業者との連携で経済効果は期待できるのか。

**町長** 今年度、22組織738ha、4,700万円の事業費で活動している。草刈り、泥上げなどの共同活動を通じ、地域のコミュニティ強化が図られている。県内の数組織が返還の対象となっている。今後、県と調整し、予算が確定する令和2年2月の納付を考えている。

### 新規就農は

**館岡** 若い方々が新規就農しやすい環境をつくる事が農業の活性化になるが現在の状況は。

**町長** 県全体では平成30年度が225名、町では平成28年

**町長** 廊下、教室の床、音楽室の壁、体育館の壁等に木材を使用し内装の木質化を図っている。できるだけ地元のスギ材を利用したい。文書で地元産材などを発注してくれるように要請している。町内業者への発注を随時要請している。



帝釈寺の大けやき

# 一般質問

## 森山二高地への車道は 誰のものか

町長 平成4年に町への移管協議も  
進展ないまま



荒川 滋



細く未舗装、あまりにも不親切な道

**荒川** 通信事業者の管理目的のための道路で観光目的ではないので幅員狭く、急こう配、未舗装とされてきた森山への車道。新五城目町歴史散歩(平成11年に町教委発行)には、観光道路と紹介されている。所有を含めて事実関係は。  
**町長** 通信事業者の管理道路と認識している。町への移管について平成4～5年に事業者と協議をしたが進展ないまま現在に至っている経緯があ

る。路肩の草刈りや碎石の補充などは町が対応している。  
**荒川** 町のシンボルである森山を観光の目玉ととらえ車道整備することを6月定例会に続いて問う。

**町長** 車道整備は頂上の駐車台数、急こう配、渋滞、景観など考えると有効な対策とは言いがたいが、町民みんなの山として更に環境整備に努めたいと考える。

**荒川** 町の姿勢は冷めたもの。住民の思いと大きな温度差を感じる。これまで半世紀の間、中途半端な状態のこの問題を解決し、町民に寄り添った町政を望む。

### 町民が利用できる 野球場の整備を

**荒川** 小学校の建設により雀館多目的運動広場(野球場)はレフト側が70mしかとれなくなり、町には中学校隣接以外、一般が利用できる球場がなくなる。県内自治体で唯一というこの状況をどう思う。

**町長** 中学校に隣接する町営球場の適切な維持管理、学校優先ではあるが部活動休養日等に気軽に利用できるよう調整を図る。また近隣市町村の類似施設の広域活用を検討する。

### 「子供は町の宝」を 実感できるよう

**荒川** スポ少、部活動の練習場所や試合会場の利用料を町で全額補助できないか。

**町長** 詳細なルール作りが必要。屋内ゲートボール場については社協と協議していく。



町の子供の利用料無償化で負担軽減を

**荒川** 中学校部活動で全校応援を伴う場合に、かかる費用の町の補助などの取り決めが必要だ。

**町長** 全県大会以上の全校応援に際し、交通費などに対するの補助要綱の見直しを検討する。

**荒川** 中学校部活動指導員導入について町の取り組みは。  
**町長** 現在、五一中運動部では10名の外部指導者を委嘱しボランティアで指導にあたっていただいている。部活動指導員については、県内の動向も踏まえながら検討する。

### 朝市開催区域を 除雪特区に

**荒川** 町の宝とも言える五城目朝市。高齢化と数の減少が続く朝市出店者。出店者の負担軽減のため、朝市開催区域を除雪の特區にして徹底した除排雪を。

**町長** 朝市通りは通常の除雪作業の他、一時的なイベント開催前の一斉除雪は行っている。積雪状況を見ながら配慮していく。



出店場所が雪に覆われる冬期間

# 陳情と意見書

五城目町議会が議決した意見書を各関係機関に提出しました。

**採択**

◆町議会として、秋田市新屋への地上イージス配備反対の意見表明を求める陳情

ミサイル基地イージス・アショアを考える秋田県民の会  
代表委員代表 川野辺英昭

**採択に賛成の議員**

荒川 滋 椎名 志保  
佐藤 慶彦 斎藤 晋  
佐々木仁茂 石井 光雅  
伊藤 正春 佐藤 重信  
千田 峯夫 荒川 正己  
石川 交三

**採択に反対の議員**

畑澤 洋子 館岡 隆

**採択**

◆新たな過疎対策法の制定に関する意見書の提出について

秋田県山村・過疎地域振興会長 佐々木哲男

**継続**

◆日本政府に対して、国連の「沖縄県民は先住民族」勧告の撤回を求める意見書の採択を求める陳情書

一般社団法人日本沖縄政策研究フォーラム  
理事長 仲村 覚

**継続**

◆米軍普天間飛行場の辺野古移設を促進する意見書に関する陳情

宜野湾市民の安全な生活を守る会  
会長 平安座唯雄



# 議員研修報告

**南秋田郡の全議員が対象**

**【研修名】**

南秋田郡町村議員大会

**【研修日】** 7月8日

**【研修先】** 五城館

**【講演】**

2019年後半の金融市場展望

（「トランプ劇場」の行方）

**【講師】**

北都銀行

取締役常務執行委員

松田 卓氏

**【参加議員】** 全議員

**より良い議会を広報をめざして**

**【研修名】**

秋田県町村議会広報研修会

**【研修日】** 7月31日

**【研修先】**

秋田市ルポールみずほ

**【講演】**

住民参加・信頼確保  
関心高める情報発信

**【講師】**

議会広報コンサルタント  
芳野 政明氏

**【参加議員】**

荒川 滋 椎名 志保  
佐藤 慶彦 斎藤 晋

**議会の役割を学ぶ**

**【研修名】**

秋田県町村議会議員研修会

**【研修日】** 7月31日

**【研修先】** 秋田市町村会館

**【講演1】**

自治を支える

議員活動について

**【講師】**

新潟県立大学国際地域学部  
准教授 田口 一博氏

**【講演2】**

参院選結果分析と夏以降の政局展望

政局展望

**【講師】**

政治ジャーナリスト  
泉 宏氏

**【参加議員】**

荒川 滋 椎名 志保  
佐藤 慶彦 斎藤 晋  
佐々木仁茂 畑澤 洋子  
石井 光雅 伊藤 正春  
佐藤 重信 館岡 隆  
千田 峯夫 荒川 正己  
石川 交三

**地方自治体財政運営を学ぶ**

**【研修名】**

地方財政制度の基本と自治体財政

**【研修日】** 8月19日～21日

**【研修先】**

全国市町村国際文化研修所

**【参加議員】** 椎名 志保



各種研修が行われている研修所

（畑澤 洋子）



あれ



# なんとなくだったべが!

平成30年9月定例会一般質問より

問

時代の要請として「合葬墓」の建設を進めよう。

答

何らかの対策が必要な時期に来ていると痛感している。今後慎重に検討をすすめ、心安らかに使用できる形を見出ししていく。

現在

「合葬墓」については、個人的な思いや地域の風習など、配慮すべき点も多々あることから、公営や民営など、周辺の動向も視野に入れ、今後も慎重に検討していく。



合葬墓が考えられる杉ヶ崎墓苑墓地

問

小学校建設で、地元産材の活用はどのように検討しているのか。

答

実施設計において、樹種や使用量が決まったら地元業者と協議の場を設ける。

現在

入札にあたって、文書で地元産材の調達や地元業者の活用などを要請している。また、請負業者に対しては、町の業者名簿などを提供し、地場産材の使用を強く要請している。

問

やさしい子育て支援に母子手帳アプリを。

答

他町の導入事例を参考に検討する。

現在

今年5月から「ごっこナビ」として運用が開始され、現在64名がダウンロードしている。妊婦や子育て世代の健康や育児に関する情報を配信していて、今後も「ごっこナビ」を活用し、子育てしやすいまちづくりを目指していく。

問

地域活性化支援センターの指定管理料の考  
え方は。

答

事業者側で現在の支援センターの収支状況と移住・起業関係の事業などを参考として積算してもらい、提案された指定管理料を財政負担も考慮して検討していく。

現在

当該施設は、平成31年4月1日から指定管理者による管理運営を行っていて、指定管理料については、提案された事業計画に基づき、単年度契約により、予算の範囲内において、その金額を定めている。

その金額については、これまでの施設管理に係る収支額を基準とし、新たに利用促進や移住・起業支援に係る経費を加えた内容となっている。

(佐々木仁茂)



## 山ゆり読書会

### 『読書の秋』



代表 坂谷 晃さん（広ヶ野）  
（前列 右端）

#### ◆どんな会ですか

昭和57年、中央公民館の社会教育主事から、親子読書会を作るよう働き掛けがあり、始まりました。その後、子どもたちも成長し、親だけの学習会となって今年で33年目を迎えました。

#### ◆活動の様子は

当番が選んだ本について感想を述べ合ったり、近況を語ったりしています。読書感想学習だけでなく、年に一度、移動研修も行っています。若い頃は、岩手県や青森県まで足を延ばしていましたが、近年は近場での研修となり、八郎潟町や三種町の図書館を訪れています。

#### ◆議会を傍聴して

参加者は皆、初めての経験でした。町財政運営、児童の体力低下、まちづくりなどの質問がされておりましたが、特に歩道橋の撤去や、街路樹の管理については、すぐにイメージができて、身近に感じることができました。また、答弁も的確で解かりやすいものでした。女性議会で質問に立った仲間もいて、懐かしんでいます。

「議会だより」だけでは感じるこのできない、たくさんのお話を聞けることができました。参加者一同、有意義であったとの感想でした。  
※山ゆり読書会の皆さんは今議会を傍聴されております。

（椎名 志保）

## がんばってます

### 『野球で培ったもの』



能代高校3年  
坂田 光聖さん  
（畑 町）

私は能代高校軟式野球部に所属していました。軟式野球部では、練習メニューを自分で考えて自主性を育み、「全国制覇」という目標を掲げ、日々の練習に励んでいます。

高校になると、中学校よりも「結果」を求められます。「結果」を出すためには、やみくもに練習するだけでは足りないと思います。「どうしたら打てるようになるか」など、常に疑問を持ち続け、試行錯誤を繰り返すことで、自分のプレイに自信を持つことが出来ました。自信を持つことで、自然と「結果」がついてくるものだと分かりました。そして、全員で力を合わせ

せ、全国大会に出場することが出来ました。自分をこれまで支えてくれた家族の力がなければ、確実に全国大会には行けません。また、自分をここまで成長させてくれた人達に対して、感謝しありません。今後は、野球で培ったものを生かし、考えることと感謝することを忘れずに、立派な社会人になりたいと思います。



北羽新報社提供

写真中央が本人

（荒川 滋）

### 編集

### 後記



令和元年度の稲作は、春先からの水不足で先行きが心配されたが、出穂期以降の生育が順調で作況がやや良となり、農家の方々は収穫を終えて一安心ではないだろうか。

9月は、千代田区との姉妹都市交流30周年記念式典や五城目小学校改築工事安全祈願祭など、今後につながる明るい話題があった。

千代田区との交流では、児童双方の交流事業が子供たちに良い刺激を与えているので、未永く続いてほしい。

五城目小学校改築工事がいよいよ本格的にスタートした。次代を担う子供たちの教育環境の整備は全町民の願いであり、来年の完成が待ち遠しい。

今回の「みんなの町議会」は一ヶ月遅れの発行となりました。9月定例会の日程上、10月発行が出来なかったことをご理解願います。今後ともご愛読宜しくお願いします。

佐々木仁茂